

## 15. 主な経営財務分析表

項 目			算 式	単位	平成24年度	平成23年度	平成22年度
総収益対総費用比率			$\frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}}$	%	102.3	103.1	102.2
医業収益対医業費用比率			$\frac{\text{医 業 収 益}}{\text{医 業 費 用}}$	‰	93.0	93.3	92.0
病 床 利 用 率			$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年 延 病 床 数}}$	‰	78.9	79.8	86.6
患 者 数	一日平均	入 院	$\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{診 療 日 数}}$	人	346.3	350.2	353.3
		外 来	$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{診 療 日 数}}$	‰	842.4	870.1	892.9
	外 来 入 院 患 者 比 率		$\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}}$	%	164.0	166.3	169.0
収  益	患者1人 1日当り 診療収益	入 院	$\frac{\text{入 院 収 益}}{\text{年延入院患者数}}$	円	38,129.9	36,859.5	35,892.5
		外 来	$\frac{\text{外 来 収 益}}{\text{年延外来患者数}}$	‰	9,153.6	8,541.7	8,321.5
	薬 品 使用効率	投 薬 薬 品	$\frac{\text{投薬収入+薬価外}}{\text{投 薬 薬 品 費}}$	%	116.8	116.9	119.1
		注 射 薬 品	$\frac{\text{注射収入+薬価外}}{\text{注 射 薬 品 費}}$	‰	117.6	116.0	113.8
費  用	対 医 業 収 益 比	給 与 費	$\frac{\text{給 与 費}}{\text{医 業 収 益}}$	‰	64.3	65.0	63.3
		材 料 費	$\frac{\text{材 料 費}}{\text{医 業 収 益}}$	‰	21.1	22.0	23.2
		う ち 薬 品 費	$\frac{\text{薬 品 費}}{\text{医 業 収 益}}$	‰	11.4	11.2	12.0
	患者1人1日当り薬品費		$\frac{\text{薬 品 費}}{\text{年延入院外来患者数}}$	円	2,421.7	2,267.0	2,330.0
	患者1人1日当り給食材料費		$\frac{\text{給 食 材 料 費}}{\text{年延入院患者数}}$	‰	499.9	496.7	487.8

(注) 上表は会計決算の数値を用いている。

## 16. 平成25年度 院内の会議・委員会一覧

H25. 4. 1

項目	会議・委員会名	委 員 長	事務局	開催頻度	目 的	備考
総括	管理運営会議	八戸副院長	運営企画専門員	毎月1回	病院運営に係る重要事項の審議決定	1
	管理者連絡会	院 長	事務局長	毎日	病院運営状況の把握、検討	2
	企画会議	院 長	運営企画専門員	毎月1回	病院運営に係る諸課題の検討	3
	衛生委員会	院 長	庶務係長	毎月1回	職員の健康保持、職場環境の整備	4
診療運営	医長・診療科長会議	蘇副院長	医事相談課長	毎月1回	診療運営に関する連絡調整と審議	5
	患者の声委員会	杉原副院長（看）	医療福祉相談専門員	毎月1回	患者の声への対応検討	6
医療安全	医療安全管理対策委員会	八戸副院長	医療安全担当	毎月1回	医療安全体制確立のための調査審議	7
	医療事故調査会	八戸副院長	事務局次長	随時	事故原因の調査、対応策の検討	8
	院内感染予防対策委員会	廣野教育研修部長	医療安全担当	毎月1回	院内感染の予防対策の協議、検討	9
	医療事故防止対策委員会	阿部医療安全部長	医療安全担当	週1回	医療安全防止対策の検討、研究、立案	10
薬事	管理運営会議薬事部会	院 長	薬剤部	1回／4月	薬事に関する決定	11
	薬事委員会	八戸副院長	薬剤部	1回／4月	薬事に関する審議	12
機材	医療機器等器械備品購入委員会	八戸副院長	施設用度係長	随時	医療機器の購入に関する審議	13
	診療材料選定審査会	椎名診療機材部長	施設用度係長	1回／2月	診療材料の選定	14
	医療機器等機種選定審査会	八戸副院長	施設用度係長	随時	高額機械等の購入時の機種を審査選定	15
	器械備品等指名業者選定審査会	院 長	施設用度係長	随時	器械備品等の指名業者選定に関する審議	16
倫理	倫理委員会	蘇副院長	医事相談課長	随時	診療に関する倫理問題の審議	17
	治験審査委員会	八戸副院長	薬剤部	随時	治験実施の妥当性の審議調査	18
	診療情報提供委員会	中原医学資料部長	医事係長、情報企画係長	随時	診療情報提供の適否の審査	19
部	外来業務改善検討委員会	桜本第一診療部長	医事主査	随時	外来運営についての課題検討	20
	手術部会	神宮手術部長	看護部（手術室）	随時	手術部の運営に関する事項の審議	21
	集中治療室運営委員会	佐藤集中治療室長	看護部（ICU）	随時	ICUの運営に関する事項の審議	22
	栄養給食委員会	蘇副院長	栄養管理主査	随時	栄養給食課の運営に関する事項の審議	23
	検査部運営委員会	松本検査部長	検査部技師長	随時	検査部の運営に関する事項の審議	24
	輸血委員会	椎名診療機材部長	検査部技師長	随時	輸血に関する諸問題の調整	25
	放射線部運営委員会	板垣放射線部長	放射線部技師長	年1回以上	放射線部の運営に関する事項の審議	26
	放射線安全委員会	板垣放射線部長	放射線部技師長	年1回以上	放射線障害防止の企画審議	27
	診療録管理委員会	中原医学資料部長	医事係長、情報企画係長	随時	カルテ様式、保管及び病歴管理の検討	28
	地域医療部会	八戸副院長	医療福祉相談専門員	随時	地域医療部の運営に関する事項の審議	29
	救急災害医療検討委員会	石山救急部長	運営企画専門員、 医療福祉相談専門員	随時	救急医療に係る諸問題の検討	30
	臨床研修病院群研修管理委員会	院 長	臨床研修係長	随時	臨床研修病院群全体の研修の管理運営	31
	医師臨床研修運営委員会	廣野教育研修部長	臨床研修係長	随時	医師臨床研修の円滑な実施に向けた調整	32
がん対策	がん診療対策委員会	八戸副院長	医事主査	随時	がん診療対策の整備	33
	がん登録部会	八戸副院長	医事主査	随時	がん診療の向上	34
	がん化学療法部会	石山救急部長	薬剤部	随時	がん化学療法の推進	35
	緩和ケアチーム部会	石山救急部長	がん支援看護師	随時	緩和医療の推進	36
DPC	DPC委員会	八戸副院長	医事主査	随時	DPC運用の検討	37
課題別	保険診療・再審査請求検討委員会	八戸副院長	医事係長	月 1 回	保険診療請求、再審査請求に関する審議	38
	業務電算化検討委員会	板垣放射線部長	情報企画係長	随時	電算システムの開発推進	39
	クリニカルパス委員会	石山救急部長	看護部	随時	クリニカルパスの導入拡大の検討	40
	N S T ・褥瘡対策委員会	八戸副院長	主任管理栄養士	随時	褥瘡患者・低栄養患者治療等の効率的推進	41
	医師研究調査事業運営企画委員会	長瀬医局長	総務主査	随時	調査事業の運営企画	42
	研修委員会	阿部医療安全部長	医事主査	随時	院内研修会の開催	43
	広報委員会	廣野教育研修部長	庶務係	随時	広報誌の発行、H P の管理運営	44
	図書委員会	阿部医療安全部長	庶務係	随時	図書室の運営	45
	病院機能評価受審対策委員会	蘇副院長	運営企画専門員	随時	病院機能評価受審	46
	病院機能強化検討委員会	八戸副院長	運営企画専門員、 医療福祉相談専門員	随時	病院の中長期ビジョンの検討	47
	病棟再編検討委員会	蘇副院長	運営企画専門員	随時	各病棟への診療科の配置	48

「仁」、「愛」、「和」の心をもって...

平成 25 年度

# 病 院 概 要

SHINJO Hospital summary book



## 新 庄 病 院 憲 章

わたくしたちは患者さんの生命を尊重し、次の三つの理念をもって、最上地域の良質な医療の確保と充実に努めます。

1. 「仁」の心をもって、  
患者さんの満足と安心が得られる医療に努めます。
2. 「愛」の心をもって、  
患者さんの人格を尊重し、最善の医療を尽くします。
3. 「和」の心をもって、  
職員の融和と地域の医療・保健・福祉の連携を図ります。

## 山形県立新庄病院の理念と基本方針

### 理 念

「仁」、「愛」、「和」の心をもって、地域住民に信頼と安心を与える医療を提供し、最上二次保健医療圏唯一の中核病院としての使命を果たします。

### 基本方針

- 1 患者とその家族の方々の権利を尊重した患者中心の医療を推進します。
- 2 病院機能の充実に図り、医療安全の確保、医療水準の向上に努めます。
- 3 地域医療機関と連携を強化し、役割を分担しながら、地域住民の安心を確保します。
- 4 良質な医療を提供し続けるため、経営の健全化を図ります。
- 5 将来の地域医療を担う医療人の育成に取り組んでいきます。

## 職 員 行 動 指 針

1. 信頼され、選ばれる病院となるため、一人一人が研鑽に務めよう。
2. 医療の安全確保に、最大の努力をしよう。
3. 常に、患者さんの立場に立って行動しよう。
4. 地域とともに歩む病院を目指し、地域をよく知ることからはじめよう。
5. 「やれない」のではなく、「どうしたらやれるか」を考えよう。
6. チームの一員としての自覚をもって行動しよう。
7. 安定した医療を提供し続けるため、経営健全化目標を達成しよう。